「自主自律の学び」を研究・支援する
学修・教育開発センター

東京家政大学
東京家政大学短期大学部

CREDレター 【No.4】

Center for Research and Educational Development（CRED） ※CredibilityのCRED「クレッド」とご記憶ください

◆アメリカの大学教育～ハワイ大学マノア校編

児童学科　渡部　晃正（ハワイ大学マノア校客員研究員[2013.4～2014.3]）

ハワイ大学マノア校

ハワイ大学マノア校のミッション

1907年に創設されたハワイ大学マノア校（University of Hawai'i at Mānoa 以下、UHMと称する）は、3つの大学と7つのコミュニティ・カレッジから構成されるハワイ州立大学システムの旗艦校です。専任教員数は約1,200人、学生数は約2万人（大学院生とパートタイム学生を含む）で、ハワイ州最大の総合大学です。19の学部・大学院等において200以上の学位プログラムが用意され、そのなかには、人気の高いメディカル・スクール、ロー・スクール、ビジネス・スクールなども含まれています。学部学生の人種等の主な構成は、アジア系40.4%、白人20.9%、ネイティブ・ハワイアンおよび太平洋の島々出身者17.4%です。また、学生の67%は州内出身者ですが、留学生の比率は6.1%に達し、とくに日本、韓国、中国からの留学生が上位を占めています。UHMは、ハワイの地理的・歴史的特性から、東アジア・太平洋地域に関する研究拠点という位置づけにあり、大学内にある非営利団体のEast-Westセンターは、米国とアジア・太平洋地域における国際人物交流に貢献してきました。

『2011－2015戦略計画』によれば、UHMは、次のような大学のミッションを掲げています。

> UHMは、空と海と陸地に恵まれた大学として、学術研究の卓越性を求めるだけでなく、われわれを取り囲む地域、国家、国際社会のために貢献します。ネイティブ・ハワイアンの言葉であるKuleana（責任･使命）、Ohana（家族）、Ahupua'a（土地）に込められた家族、地域、環境に対する責任というものを想起させる歴史的な価値を引き継ぎながら、マノア校の教育質保証は、教室を超え、理論と実践の架け橋となり、創造性と批判的思考を育み、社会に貢献できるメンバーとなれるよう、学生の知的発達と成功を促すことを約束します。

文中にハワイ語が用いられていることからもわかるように、大学のあり方として、ハワイの伝統文化を尊重し、地域との結びつきを強調していることがうかがえます。

UHMの学修支援

UHMの学生と教員の比率は14対1です。開講されているクラスの60.3%は、受講学生が20人以下となっており、少人数教育を重視していることがわかります。しかしながら、例えば、2009年度入学生の3年後の在学率（Retention Rate）は66.5%であり、進級は容易ではありません。大学に対する評価と教育水準を落とさないため、ある程度の退学者数が出るのは致し方ないという認識が大学側にあるようです。

UHMでは、教員のオフィス・アワーが設けられ、また、各学科には、教員が持ち回りで担当するアカデミックアドバイザーが配置されています。さらに、全学的なものとして、学修に必要

なスキルや情報を提供してくれるLearning Assistant CenterやStudent Success Centerなどがあり、初年次教育、２年次教育、サービス・ラーニングなどの各種教育プログラムも用意されています。ここでは、最近、日本でも注目されているラーニング・コモンズとライティングセンターについて紹介します。

ラーニング・コモンズ～シンクレア図書館

ラーニング・コモンズとは「複数の学生が集まって、電子情報も印刷物も含めた様々な情報資源から得られる情報を用いて議論を進めていく学習スタイルを可能にする「場」を提供するもの」とされています（文科省HPの用語解説より）。UHMでは、無線LANが整備されており、学内のほとんどの場所でインターネットにアクセスすることが可能です。そのため、カフェテリアをはじめ、さまざまな場所でノートPCやタブレット型携帯端末を使っている学生の姿をよく見かけます。ラーニング・コモンズの拠点となっているのがシンクレア図書館です。館内には、自習用の机・椅子、セミナー・ルーム、コンピュータ&メディア・ラボなどがあり、平日は、24時間開館しています。Student Success Centerも、同図書館内にあります。館内は、中間試験の頃と学期末には学生で溢れかえりますが、普段は、学生たちが議論をしたり、グループ発表の準備をおこなう場となっています。また、一部のエリアを除き、飲食ができますので、コーヒーを飲みながら勉強したり、食事をとりながら友達と雑談をすることもできます。館内にはコーヒースタンドもあり、学生にとっては憩いの場ともなっています。

シンクレア図書館内

図書館内にあるコーヒースタンド

ライティングセンター

ライティングセンターとは「大学生にとって必須のスキルであるレポート、論文等の作成力を養うために設置されたセンターのこと。教員や大学院生がチューターとなり、レポート、論文等の添削や書き方の指導を行う」ところです（文科省HPの用語解説より）。UHMのライティングセンターで添削指導を希望する場合、事前に作成した文章を添付ファイルで送付し、後日、対面で30分程度の指導を受けることができます。チューターは、主に大学院博士課程の院生です。米国でも「書く力」は重視されており、タームペーパー（学期末レポート）を課す授業が多いので、予約を取るのが大変なようです。また、英語を母語としない留学生や外国人研究者にとっては、欠かせないサポートといえます。

最後に

UHMの授業料（年間）は、年々上昇し、公立の大学でありながら、州内出身者の授業料は88万円（メディカルスクールは、同300万円）、州外出身者は250万円です（1ドル＝102円で計算）。その結果、多くの学生は、多額のローンを抱えるようになりました。州政府からの補助金が減少し、大学の運営は、学費に依存する傾向にあります。UHMは、コストーベネフィットを強く意識しながら研究水準と教育の質を維持し、これまで以上に、より良い学修の場を学生たちに提供しなければならないという難問に直面しています。

（UHMに関する基礎データは、Mānoa Institutional Research Office［http://manoa.hawaii.edu/ovcaa/mir/］の提供するデータに基づいています。）

お知らせ

CRED所蔵資料ご案内 No.2

CREDが所蔵するFDおよびIR関係の資料の一部は、貸出をすることができます。ご活用ください。貸出のルールは整備中ですが、暫定的に、本学教職員対象で、期間は2週間です。貸出はCRED事務室にて行います。

おすすめ書籍

●授業改善ハンドブック編集委員会（編）
あっとおどろく授業改善　ー山形大学実践編ー
山形大学教養教育改善充実特別事業
ー授業改善ハンドブックー
山形大学教育方法等改善委員会（2003年発行）

●佐藤浩章（編）
大学教員のための授業方法とデザイン
玉川大学出版部（2010年発行）

●京都FD開発推進センター（発行）
まんがFDハンドブック　おしえて！FDマン
【成績評価編】
（2010年発行）

2014年９月発行　編集＆発行：東京家政大学　東京家政大学短期大学部　学修・教育開発センター
DTP：東京家政大学　ヒューマンライフ支援センター　坂本理恵
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1　TEL：03-3961-0284　E-mail：cred@tokyo-kasei.ac.jp